

新病院 2025 年に開院を目指す



▲西村市長に答申書を渡す米田委員長

加西病院は、市唯一の総合病院であります。築 40 年以上が経過し耐震性の問題や施設設備の老朽化が進行しています。

加西市では、病院の建て替えをすすめるにあたり、目下の超高齢化社会や、今後 30 年の人口推計などから医療需要が大きく変化することが見込まれるため、病院規模等の将来の病院の具体像を示す建設基本計画の策定を同計画策定委員会に諮問し、検討を進めていただきました。ここに、「新病院建設基本計画案」がまとめられ、12月2日に米田委員長が西村市長に答申しました。

基本計画案では、新病院は、市民の方々にとって安心できる環境を構築、加古川中央市民病院や北播磨総合医療センター等、周辺基幹病院との連携を強化し、リハビリから退院までの回復期医療を充実させることとし、また、新病院は 2025 年の開院を目指すこととされました。

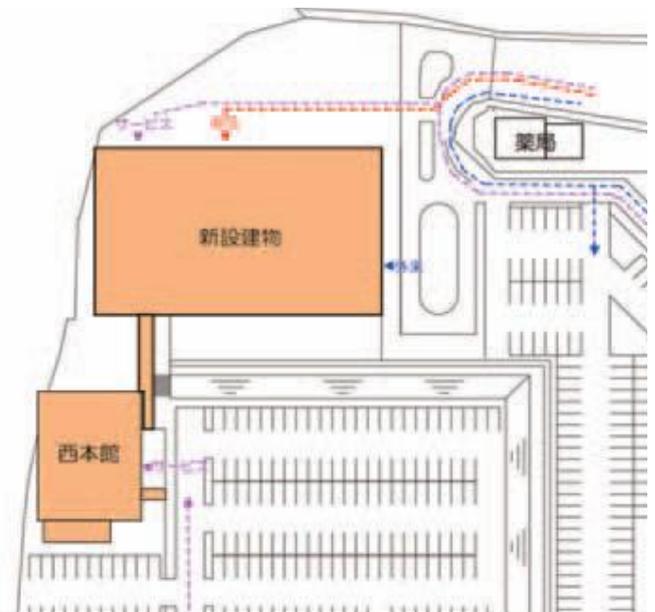
計画案では、病床数は、国や県の医療施策、必要病床数の減少推移に鑑み、現在の 199 床を 136 床程度へと想定しています。ただし、開院後 5 年間は病床が不

足ることが予測されるため、既存の西館の一部を病棟として活用することで、157 床を見込んでいます。また、計画案では、現本館と西館の北側にある駐車場に本館（5 階建て）を新設、西館の改造と併せて建設費を約 79 億円と試算しています。

現在、「新しい加西病院を考える市民ワークショップ」が全 5 回にわたって開催中です。

ワークショップでは、加西病院や加西病院を取り巻く環境、新病院建設基本計画案について、市民の皆さんと一緒に考え、意見交換を行っているところです。

ここでいただいたご意見は、新病院建設に生かしていきたいと考えています。



▲新病院建物配置イメージ

令和 3 年新年交歓会 開催中止を決定

市内の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、主催者である加西市・加西市議会・加西商工会議所の三者で協議した結果、1月5日に予定しておりました「令和3年新年交歓会」の開催の中止を決定しました。

●中止事業内容

- 事業名 令和3年加西市新年交歓会
- 日時 令和3年1月5日(火) 15時30分～
- 場所 加西市健康福祉会館大ホール
- 主催 加西市・加西市議会・加西商工会議所

●問合せ 秘書課 ☎42-8701

●経緯および理由

新年交歓会は、各種団体の長、企業の経営者など多くの方々が一堂に会し、新年のあいさつを行う大切な機会です。そのため、新型コロナウイルスの感染予防対策として、参加人数を制限し、飲食は行わず、日中に時間を短縮して開催する予定で準備してきましたが、12月より加西市内での新規感染者の増加やクラスターの発生などの状況を鑑み、来場者、関係者の皆さまの安全確保が最優先と判断し、中止を決定しました。

「加西市さわやか市民賞」は、スポーツ等の分野において輝かしい成果をおさめ、市のイメージアップに寄与した個人や団体の功績をたたえるものです。今回、藤本涼哉さん、岡蒼依さんに「加西市さわやか市民賞」を、また、加西市を代表して全国大会に出場する梅野真生さんに、大会等での活躍を祈願して賞賜金を贈呈しました。



▲左から 岡さん、西村市長、藤本さん

藤本涼哉さん、岡蒼依さん（さわやか市民賞）

11月19日、藤本涼哉さん（北条中2年）と岡蒼依さん（北条東小6年）にさわやか市民賞を贈呈しました。藤本さんは「第23回兵庫県中学校陸上競技新人大会」の男子1・2年三段跳の部において、2位と約1mの大差をつける12m79の好記録で優勝されました。岡さんは「第44回兵庫県小学生陸上競技大会」の女子6年走幅跳の部において4m29の記録で見事優勝されました。藤本さんは「大きな大会ほど力が出る。自己ベストを出したい」、岡さんは「頑張って全国大会に出場したい」と今後の目標について力強く語られました。



▲梅野さん（左）と西村市長

梅野真生さん（賞賜金）

11月26日、梅野真生さん（社高校）に文化・スポーツ振興賞賜金を贈呈しました。梅野さんは「第88回兵庫陸上競技選手権大会」男子三段跳に出場し、14m85の記録で、全国大会である「JOCジュニアオリンピックカップ全国高等学校陸上競技大会2020」の出場権を獲得されました。「陸上の経験を生かし、保健体育の教師になりたい」と将来の夢を語られました。

加西市民の警察官表彰を杉原誉征さんへ贈呈

問合せ先／秘書課 ☎42-8701
fax43-0291 hisho@city.kasai.lg.jp

加西市民の警察官賞は、加西警察署に勤務される警察官の勇敢な行動、市民への奉仕、善行などのうち、特に顕著な功労を顕彰し、市民と警察とのよりよい関係を深め、明るく住みよい加西市の実現に寄与するものです。

杉原誉征さん（加西警察署交通課）

加西警察署着任後、杉原さんは、地域課自動車警ら班主任として、窃盗、傷害などの被疑者を検挙。平成30年からは、交通課に配置となり、交通指導取り締まり等を行い、交通事故抑止に貢献されました。また、本年9月からは、管内の小学校や老人クラブ等に対する交通安全教室等を行う交通総務係に配置となり、子ども、高齢者等の交通事故抑止に尽力されています。



▲左から 前瀧署長、杉原さん、西村市長